

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	公園松くい虫対策事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	070400 - 308	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	都市公園法 森林病虫害等防除法			
■関連計画の名称	北上市緑の基本計画			
■事業の目的と概要	公園の松枯れを予防することにより、公園機能、景観を保全し、住民(公園利用者)満足度の向上を図る。松くい虫(マツノザイセンチュウ)が公園の松(アカマツ)に入りこみ、松を枯らしてしまうことを予防する為、松くい虫が松に侵入することを防ぐ薬剤を松の幹に注入しておく事業。1度注入することにより7年効果が持続する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	公園松くい虫対策事業	一般	薬剤効果の無くなった松122本に樹幹注入を実施	薬剤効果の無くなった松115本に樹幹注入を実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2,297	2,532	2,252	2,538	
人件費	840	1,713	1,727	1,755	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,137	4,245	3,979	4,293	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	松くい虫被害木数	43本	6本	6本	6本	陣ヶ丘、総合運動公園の管理区域における県調査結果(松くい虫被害木野帳、農林企画課所管)
	樹幹注入本数	126本	93本	94本	115本	
	1本당りコスト	24千円	45千円	42千円	37千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

薬剤効果の無くなった松に薬剤注入しており、他地域と比較すると良好な状況が保全されている。

問題点・課題等

薬剤効果の期間に応じた薬剤注入が施行できておらず、松くい被害の拡大を防ぐためにも、効果的な施行が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

薬剤効果が一定期間を過ぎると失われることから、現在の景観を保持するためには、継続した施行が必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了